

決算説明資料

2019年3月期 通期

2019年5月17日

業績堅調 売上13%増加、過去最高益を更新中

単位: 億円

| | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 増減比 | [参考] 19/3業績予想 2019/2/13発表 | 主因 |
|----------------------|-------|-------|-------|------|---------------------------------|----------------------|
| | 通期 | 通期 | 通期 | | | |
| 売上収益 | 4,289 | 4,275 | 4,843 | +13% | 4,500 | - |
| 営業利益 | 415 | 510 | 642 | +25% | 590 | ストック利益の増加 生産性の向上等 |
| 親会社の所有者に帰属する 当期利益 | 390 | 429 | 495 | +15% | 400 | 金融収益の増加 金融費用の減少等 |

※18/3の業績は、IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

1

売上収益・営業利益 法人事業で増収増益

単位: 億円

売上収益

| | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 増減率 |
|--------------|-------|-------|-------|------|
| | 通期 | 通期 | 通期 | |
| 法人 | 2,695 | 3,060 | 3,692 | +20% |
| SHOP | 1,319 | 945 | 873 | ▲7% |
| 保険 | 294 | 286 | 294 | +2% |
| 合計 ※全社消去込 | 4,289 | 4,275 | 4,843 | +13% |

営業利益

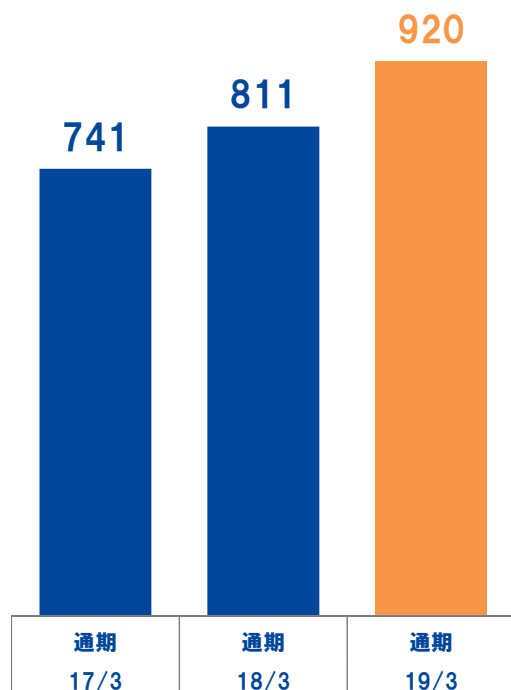
| | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 増減率 |
|--------------|------|------|------|------|
| | 通期 | 通期 | 通期 | |
| 法人 | 266 | 342 | 506 | +48% |
| SHOP | 141 | 131 | 105 | ▲19% |
| 保険 | 55 | 56 | 52 | ▲7% |
| 合計 ※全社消去込 | 415 | 510 | 642 | +25% |

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

2

ストック利益 主に法人事業で増益

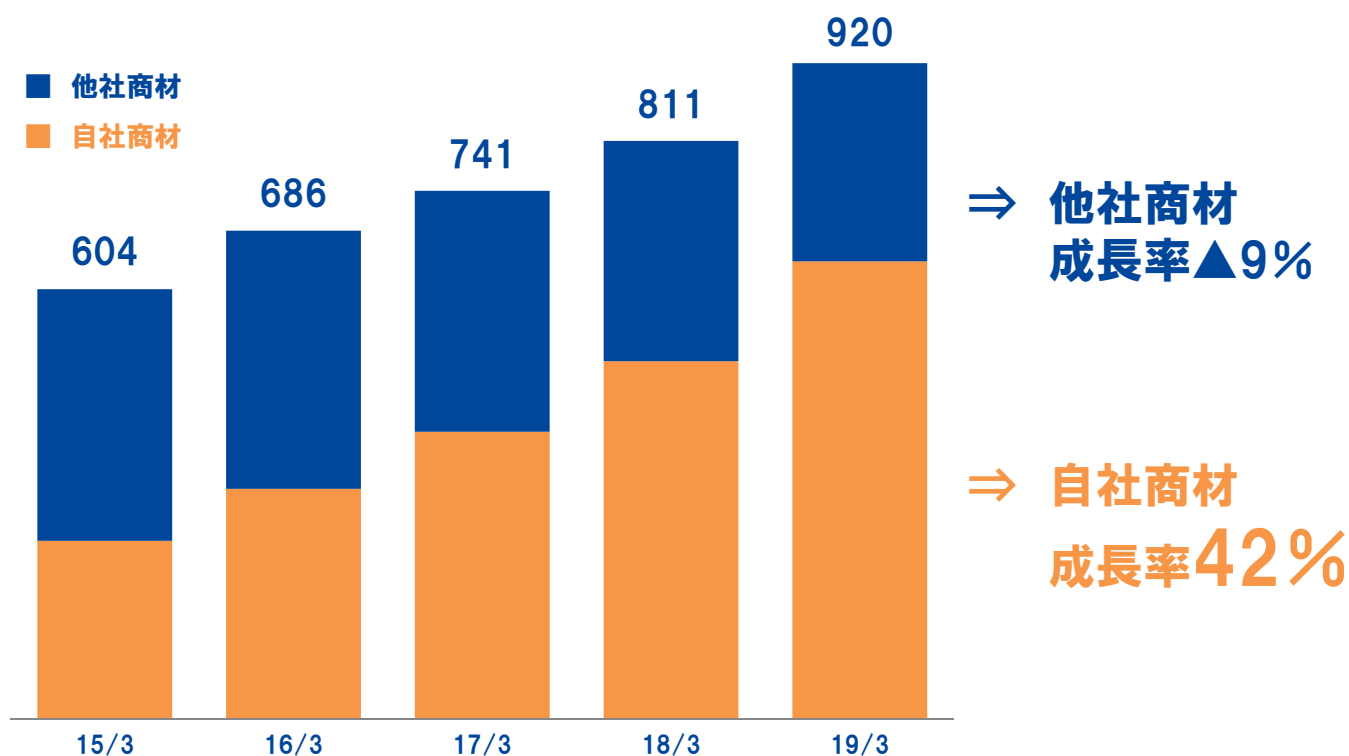
単位: 億円



| | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 増減率 |
|--------------|------|------|------|------|
| | 通期 | 通期 | 通期 | |
| 法人 | 503 | 600 | 735 | +22% |
| SHOP | 182 | 152 | 122 | ▲19% |
| 保険 | 54 | 59 | 63 | +5% |
| 合計 ※全社消去込 | 741 | 811 | 920 | +13% |

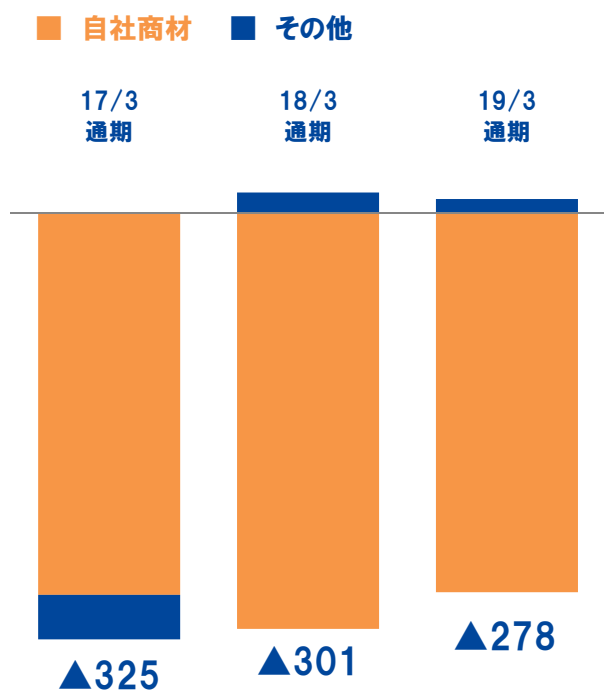
ストック利益成長率 自社商材が成長を牽引

単位: 億円



獲得コスト 採算性向上とコスト削減等による減少

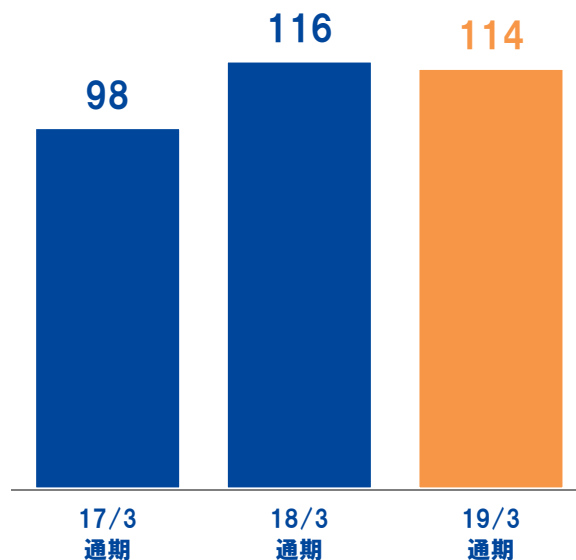
単位: 億円



自社商材獲得件数

単位: 万件

収益性の低い商材が減少
収益性の高い商材は増加



営業外損益

単位: 億円

| | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 主な差異 |
|------------------|------|------|------|---------------------|
| | 通期 | 通期 | 通期 | |
| 営業利益 | 415 | 510 | 642 | - |
| 金融収益+金融費用 | 81 | ▲75 | 11 | 受取配当金の増加 |
| 持分法による投資損益 | 49 | 16 | 23 | - |
| その他の営業外損益 | 76 | 86 | 38 | 持分法適用に伴う再測定による利益の減少 |
| 税引前当期利益 | 627 | 537 | 715 | - |
| 法人所得税費用 | ▲213 | ▲80 | ▲186 | - |
| 非支配持分 | ▲23 | ▲27 | ▲33 | - |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 390 | 429 | 495 | - |

連結キャッシュフロー

単位: 億円

| | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 主な差異 |
|----------------------|------|------|------|---------------------------|
| | 通期 | 通期 | 通期 | |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | +171 | +278 | +632 | 営業債務及びその他の債務の増加 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | ▲90 | ▲449 | ▲890 | 有形・無形固定資産の取得 投資有価証券の取得 |
| フリー・キャッシュ・ フロー | +80 | ▲171 | ▲257 | - |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | +565 | +862 | +212 | 有利子負債の増加 |

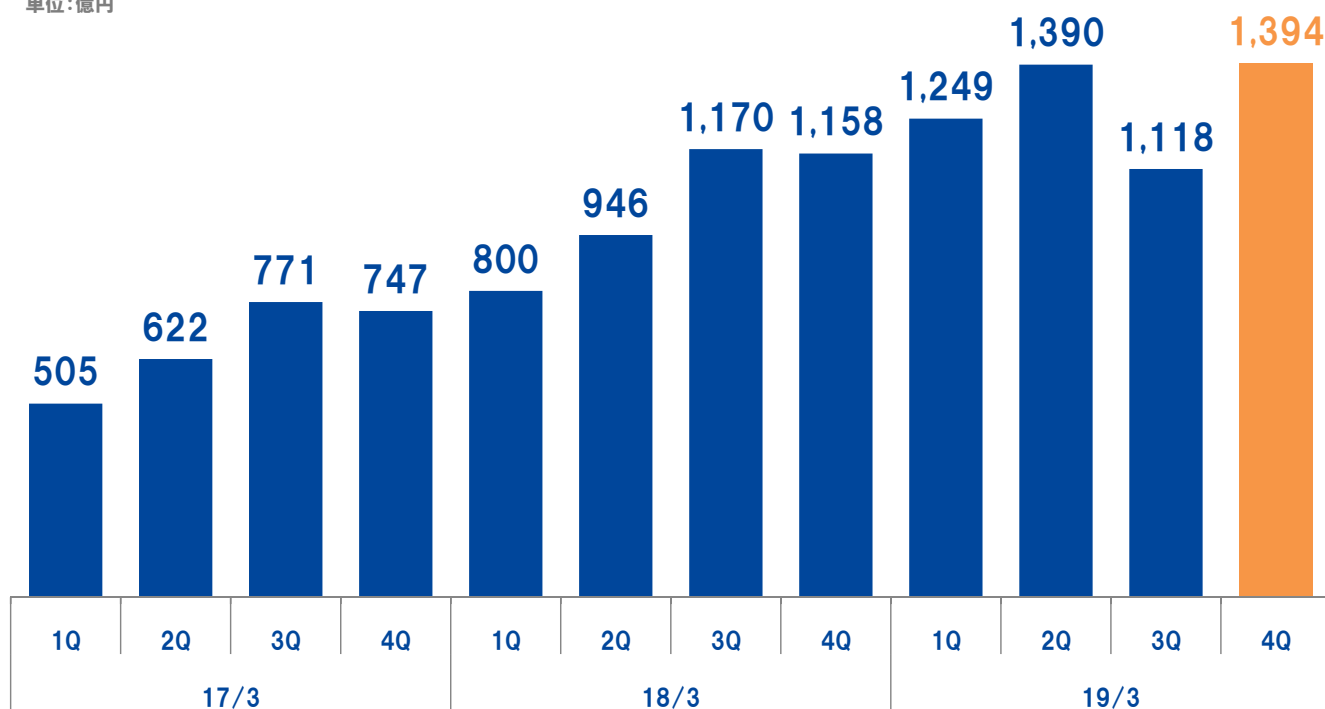
©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

7

純現金資産

※ 現預金 + 上場投資有価証券(上場子会社除く) - 有利子負債

単位: 億円



©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

8

各事業について

事業領域

内輪：セグメント
外輪：事業領域



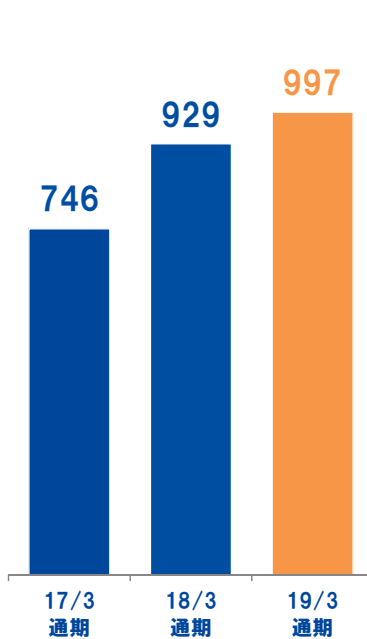
回線事業 (MVNO/自社光サービス等)

事業概要：インターネット回線サービスの販売など
 主要商材：データ通信端末、SIMなど
 区分：自社商材、他社商材

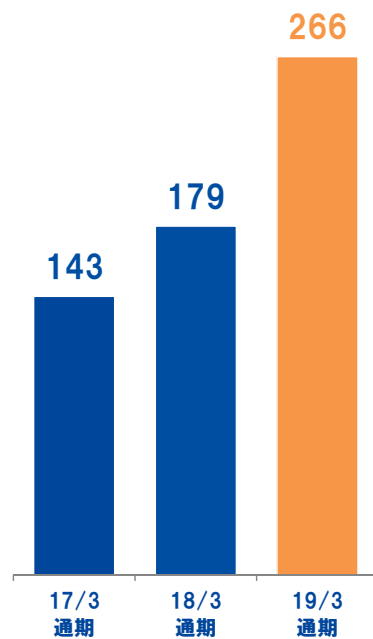
①事業イメージ



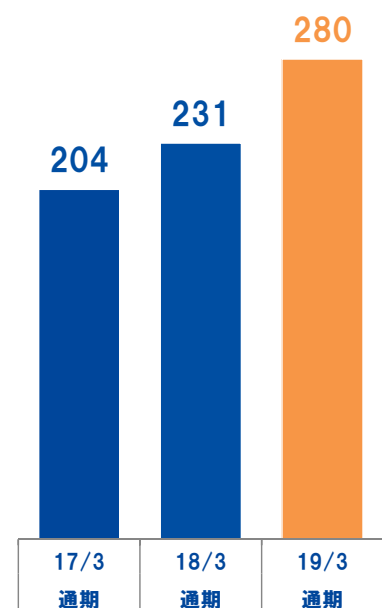
②売上 (単位:億円)



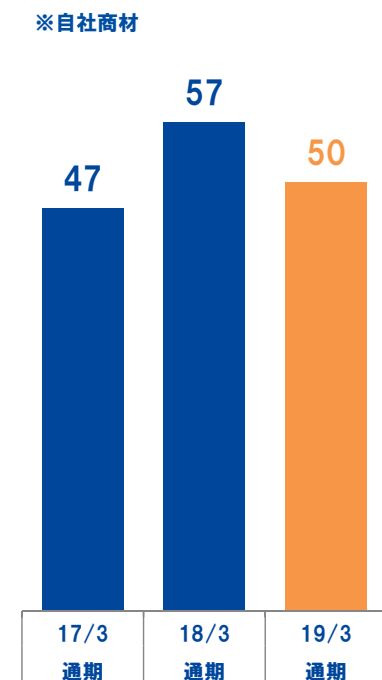
③営業利益 (単位:億円)



④ストック利益 (単位:億円)



⑤獲得件数 (単位:万件)



自社SIMの獲得減少により獲得件数は減少しましたが、
 長期的な安定収益の柱となる保有件数の増加に伴い、増益となりました。

水事業

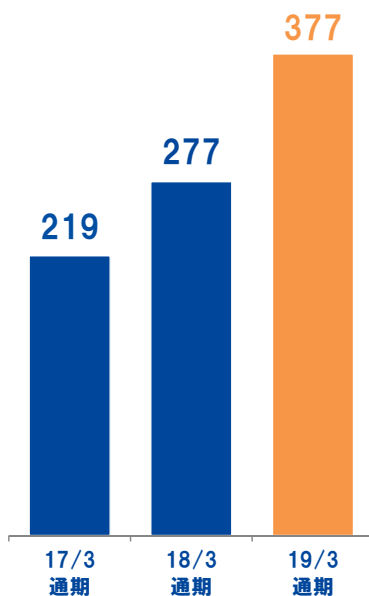
事業概要：全国各地の天然水の取水から販売まで
 主要商材：ウォーターサーバーなど
 区分：自社商材

① 事業イメージ

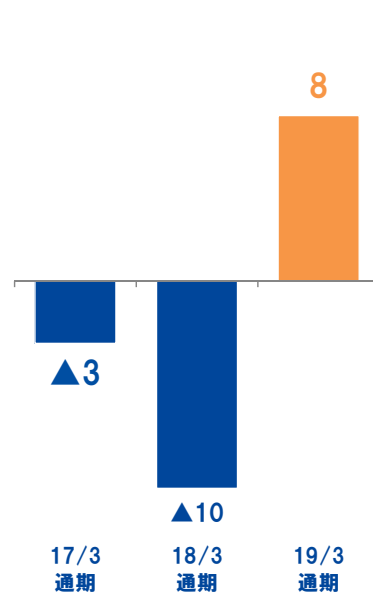
※開発、製造、品質管理、販売、アフターサービス
 全てを当社グループにて行っております。



② 売上 (単位:億円)



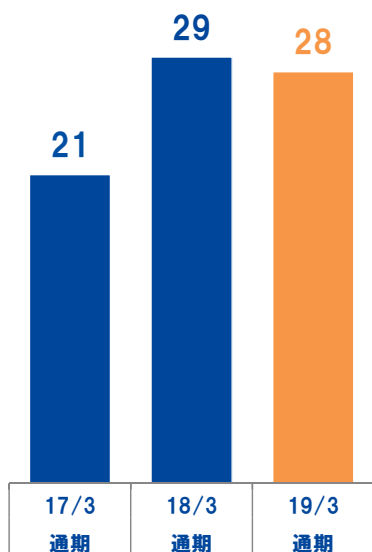
③ 営業利益 (単位:億円)



④ 獲得件数 (単位:万件)

※ウォーターサーバー

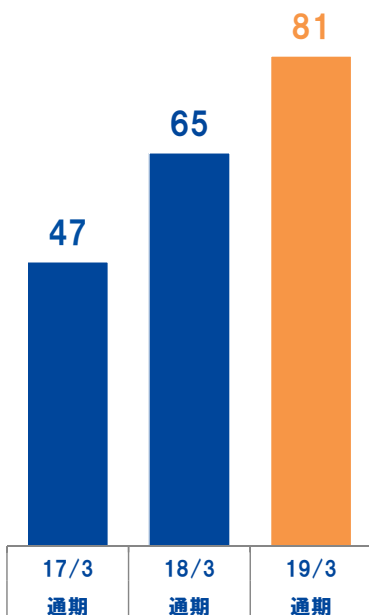
業界
首位



⑤ 保有件数 (単位:万件)

※ウォーターサーバー

業界
首位



収益基盤の強化に向けた保有契約件数の増加や1契約当たりの収益性の向上が
 順調に推移していることから、増収増益となりました

新規事業他

事業概要：各種新規事業
 主要商材：コンテンツ、EPARK、電力など
 区分：自社商材、他社商材

①事業イメージ

コンテンツ事業

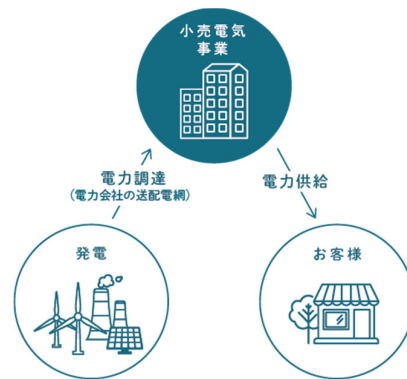


業種別ITソリューション

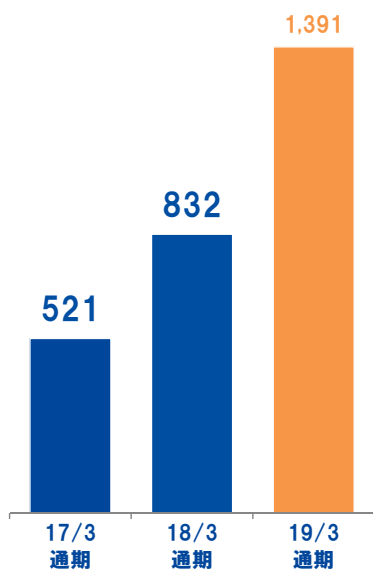
EPARK



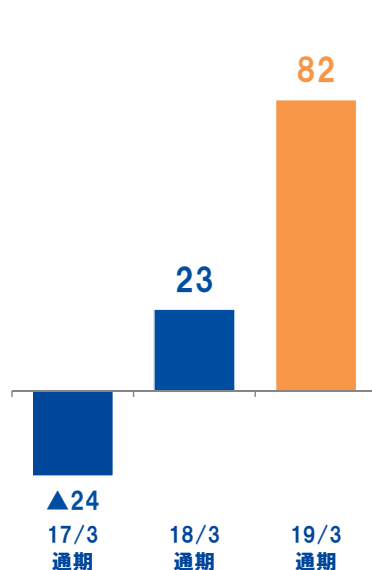
電力事業



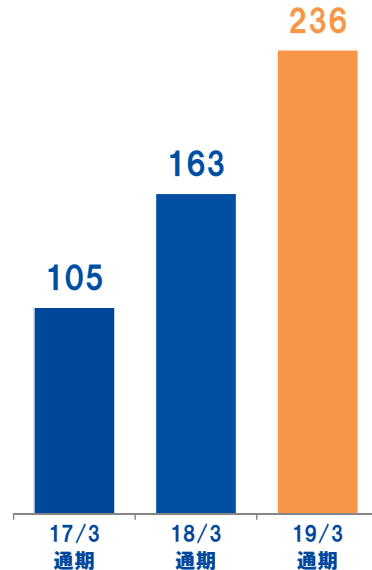
②売上 (単位:億円)



③営業利益 (単位:億円)



④ストック利益 (単位:億円)



安定的な増収増益を継続しております。

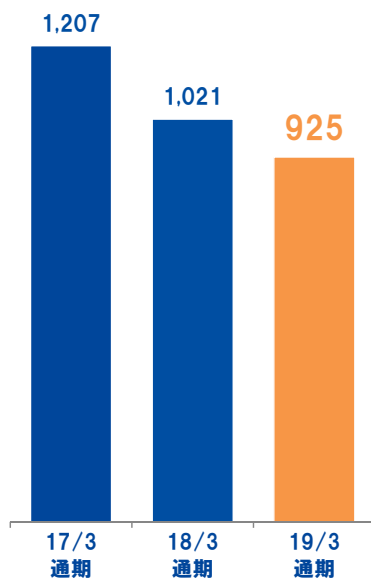
オフィス関連事業

事業概要：オフィス機器の販売
主要商材：複合機、携帯電話、ビジネスフォン、LEDなど
区分：他社商材

①事業イメージ



②売上（単位：億円）



③営業利益（単位：億円）



④ストック利益（単位：億円）



ストック利益は大幅に減少しておりますが、コスト削減及び営業生産性の向上効果により営業利益は横ばいとなりました。

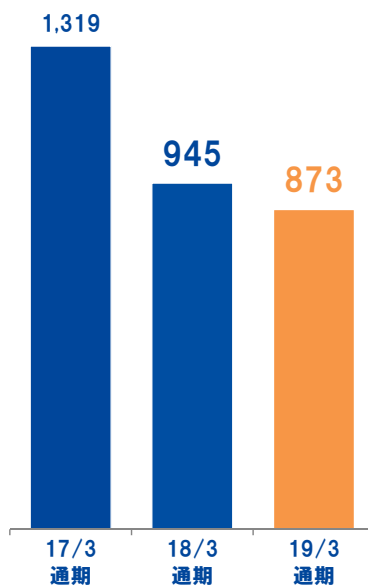
SHOP事業

事業概要：携帯電話販売店舗における各種商品の販売
主要商材：携帯電話、SIM、データ通信端末など
区分：他社商材

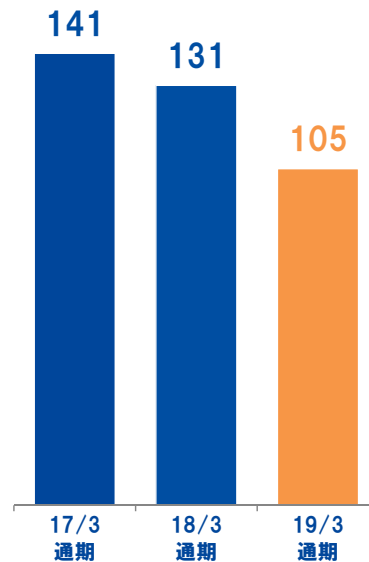
① 事業イメージ



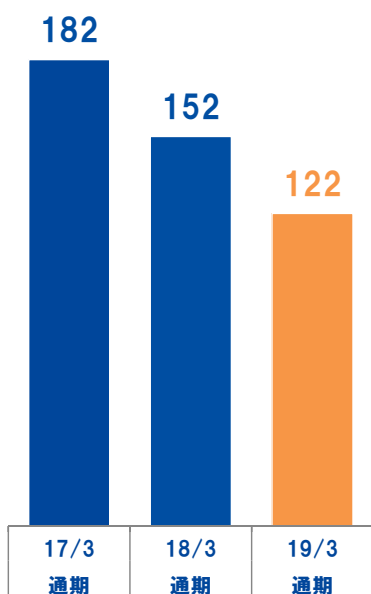
② 売上 (単位:億円)



③ 営業利益 (単位:億円)



④ ストック利益 (単位:億円)



⑤ 店舗数 (単位:店舗)



移動体通信市場の成熟などにより減益となっておりますが、店舗の生産性及び接客サービスの向上に注力しております。

保険事業

事業概要：SHOPや訪問販売などによる保険商品の取次販売
 主要商材：生命保険、医療保険、損害保険など
 区分：他社商材

① 事業イメージ



② 売上 (単位:億円)



③ 営業利益 (単位:億円)



④ ストック利益 (単位:億円)



⑤ 直営店舗数

(単位:店舗)



コールセンター・店舗・WEB・訪問の4つのチャンネルの販売網の連携強化に注力しております。

2020年3月期

代表取締役の異動内定

当社グループ事業の持続的な成長と更なる企業価値の向上の実現をより強力に推進していくための経営体制として、下記の役員人事を内定いたしました。(就任予定日:2019年6月21日)

| 氏名 | 現役職 | 新役職 |
|-------|---------|----------------------------|
| 玉村 剛史 | 代表取締役社長 | 取締役副会長 兼 業種別ITソリューション事業本部長 |
| 和田 英明 | 取締役副社長 | 代表取締役社長 |

ストックオプションと自己株式

2019年5月、業績条件付有償ストックオプションの発行を決議しました。18/3期以降3期連続。他方、1株あたり株主価値が下がることを考慮し、自己株式の取得や消却を行っております。

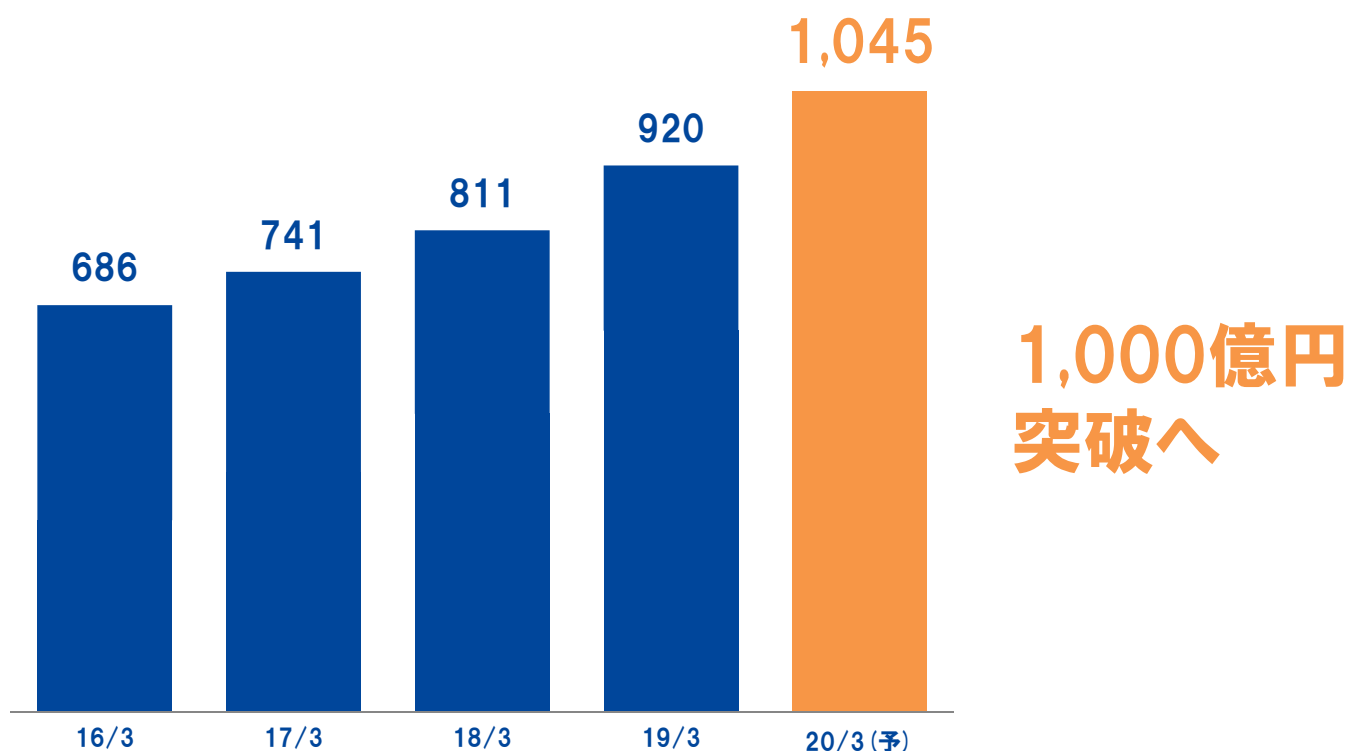
| | 業績条件付有償SO | 主な業績条件 | 自己株式 | |
|------|-----------|--|----------------|-------|
| | | | 市場買付 | 消却 |
| 18/3 | 0.08% | 営業利益、5年間、年率10%成長 415億円(17/3)→669億円(22/3) | 0.42% | - |
| 19/3 | 0.23% | 営業利益、5年間、年率8%成長 550億円(19/3予)→748億円(23/3) | 0.64% | 2.51% |
| 20/3 | 0.50% | 営業利益、5年間、年率10%成長 700億円(20/3予)→1,025億円(24/3) | 2019年5月17日現在なし | |
| 合計 | 0.81% | - | 1.06% | 2.51% |

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

25

ストック利益

単位: 億円



©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

26

業績予想

単位: 億円

| | 19/3 通期 | 20/3 通期 | |
|----------------------|---------|---------|------|
| | 実績 | 予想 | 増減率 |
| 売上収益 | 4,843 | 5,300 | 109% |
| 営業利益 | 642 | 700 | 108% |
| 親会社の所有者に帰属する 当期利益 | 495 | 460 | 92% |

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

27

資本効率

| | 18/3 通期 | 19/3 通期 | 20/3 通期予想 |
|-------------------|------------|------------|--------------|
| (ROE) 自己資本利益率 ※1 | 21.2% | 20.5% | 17.9% |
| (ROA) 総資産営業利益率 ※2 | 8.5% | 8.6% | 8.7% |
| (ROS) 売上収益営業利益率 | 11.9% | 13.3% | 13.2% |
| (EPS) 一株当たり当期純利益 | 927 | 1,075 | 1,002 |

※1 20年3月期の自己資本および総資産については、期中平均予想値ではなく、19年3月期末の実績値としております。

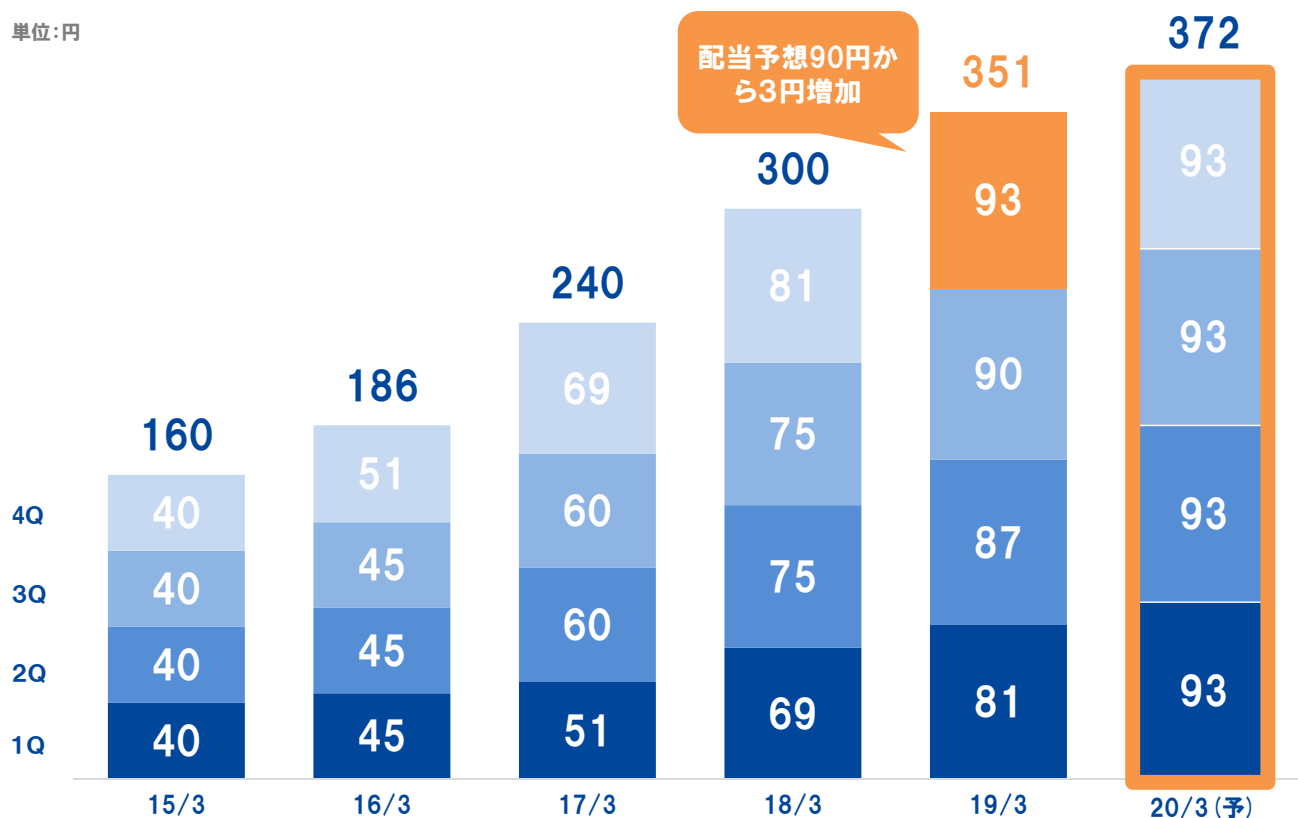
※2 営業利益÷総資産にて算出しております。

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

28

安定的な増配を継続

単位:円



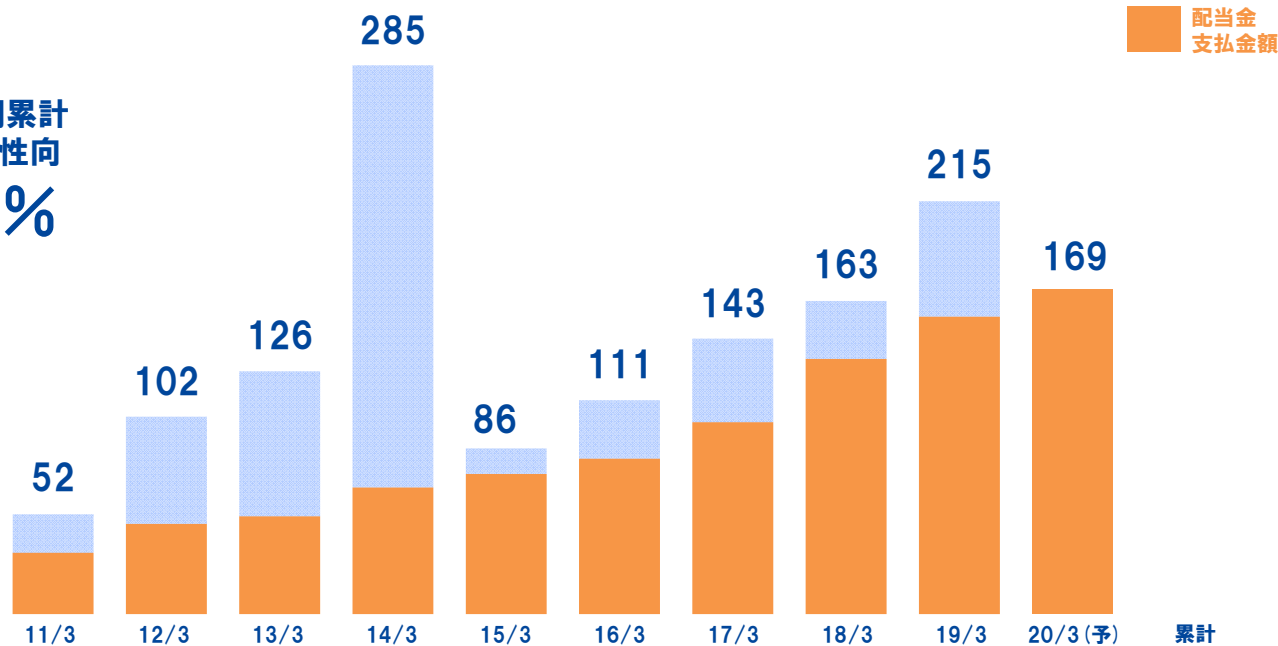
©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

29

株主還元額の推移

単位:億円

10年間累計
総還元性向
52%



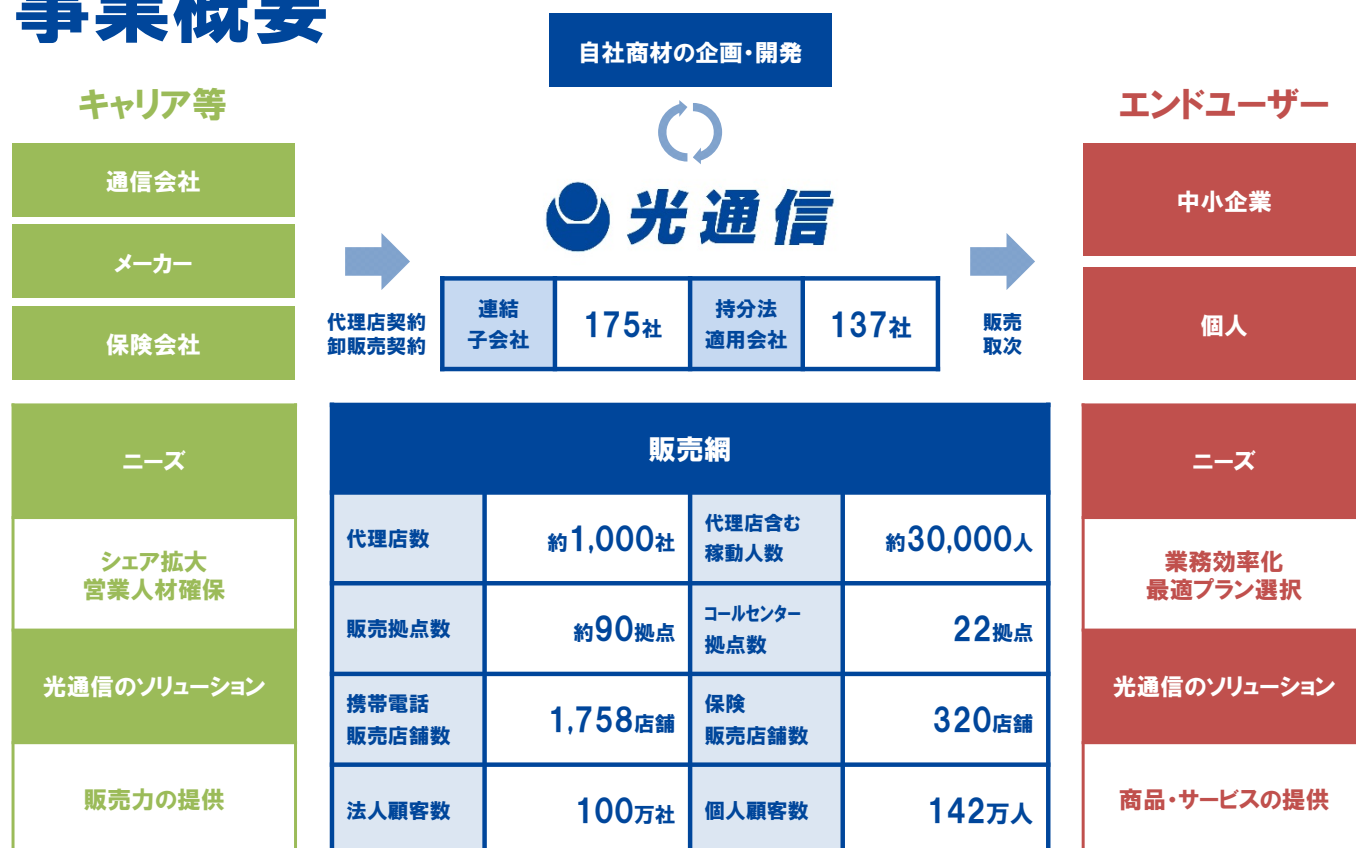
| 四半期 | 11/3 | 12/3 | 13/3 | 14/3 | 15/3 | 16/3 | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 20/3(予) | 累計 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|-----|
| 配当金支払金額 | 32 | 47 | 51 | 66 | 73 | 81 | 100 | 133 | 155 | 169 | 911 |
| 自己株取得総額 | 20 | 56 | 76 | 220 | 13 | 30 | 43 | 30 | 60 | - | 549 |
| 総還元性向 | - | 132% | 75% | 98% | 42% | 44% | 36% | 38% | 43% | 36% | 52% |

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

30

基本情報

事業概要



セグメント

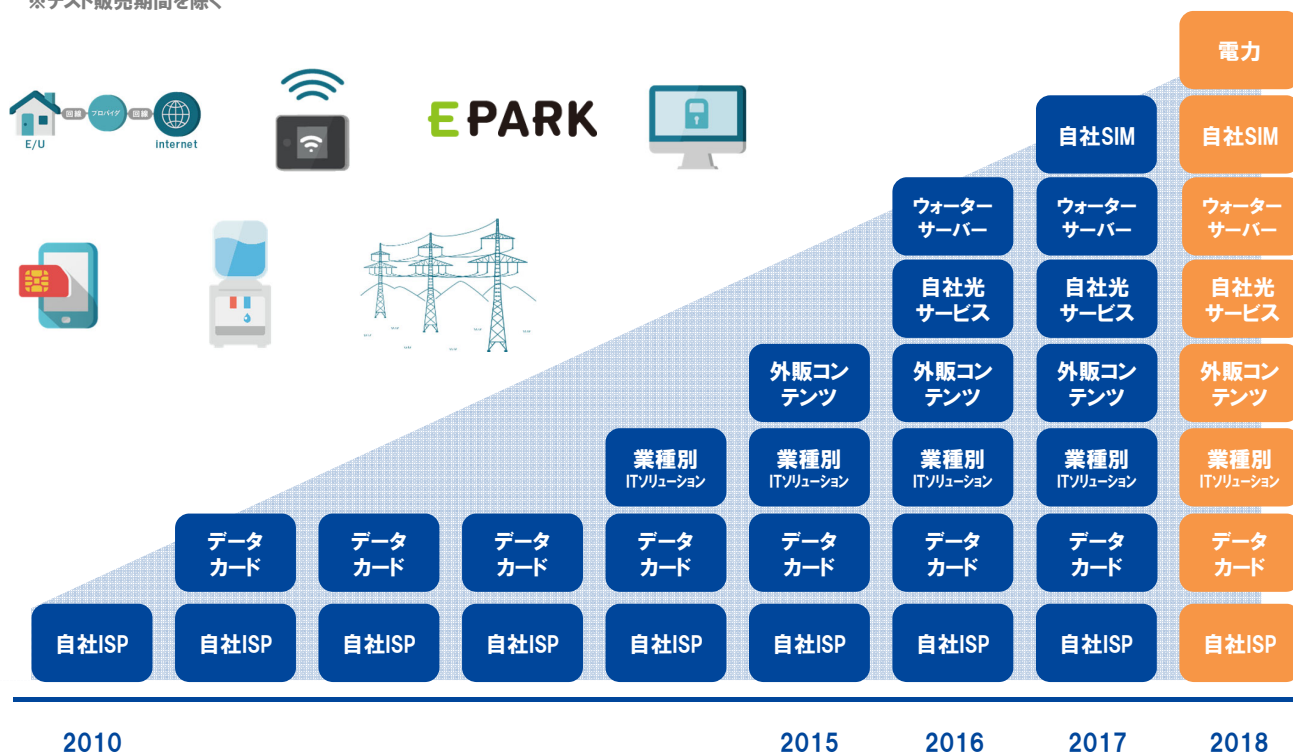
| | 事業 | 商材・サービス | イメージ | 区分 | ターゲット | 主な販売手法 |
|--------|------|---------------|---------------|--------------|---------|----------|
| 法人 | 回線 | データ通信機器 | | 自社商材 | 中小企業・個人 | Web・テレマ |
| | | 固定回線 | | 自社商材 他社商材 | | |
| | 水 | ウォーターサーバー | | 自社商材 | 中小企業・個人 | ブース・テレマ |
| | 新規事業 | 業種別・ITソリューション | E PARK | 自社商材 | 中小企業 | 訪問販売・テレマ |
| | | コンテンツ | | | | |
| | | 電力 | | | | |
| オフィス関連 | 法人携帯 | | 他社商材 | 中小企業・個人 | 訪問販売 | |
| | OA機器 | | | | | |
| SHOP | SHOP | 携帯電話 | | 他社商材 | 個人 | 店舗 |
| | | データ通信機器 | | 自社商材 他社商材 | | |
| 保険 | 保険 | 保険 | | 他社商材 | 個人 | 店舗・テレマ |

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

33

自社商材 商材数の拡充

※テスト販売期間を除く

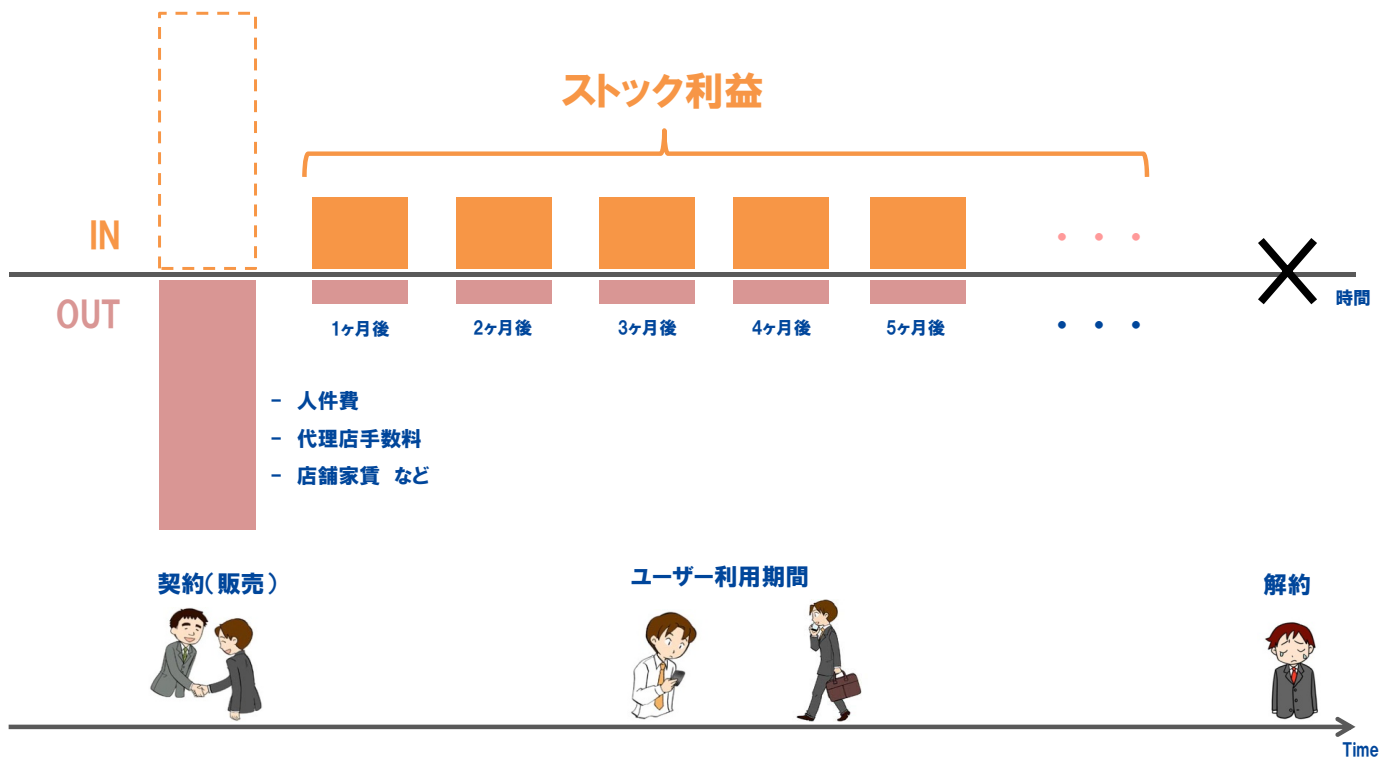


©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

34

代表的な収益モデル

(1件あたりの収益イメージ)



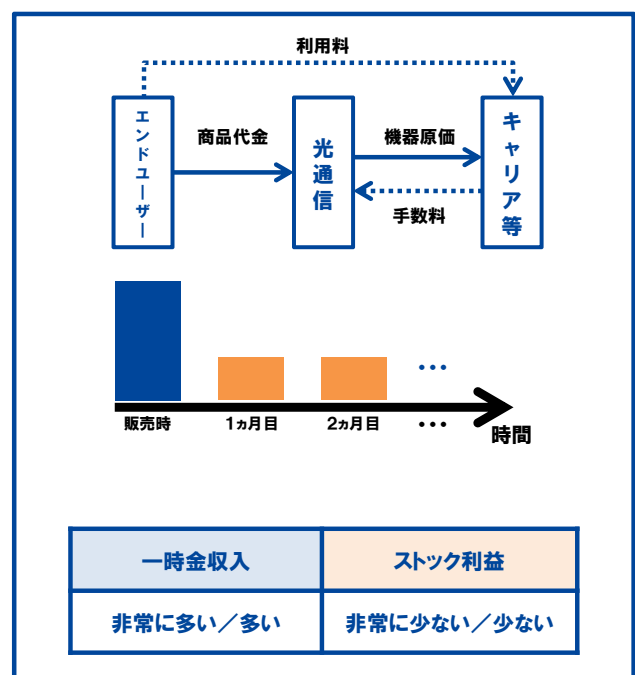
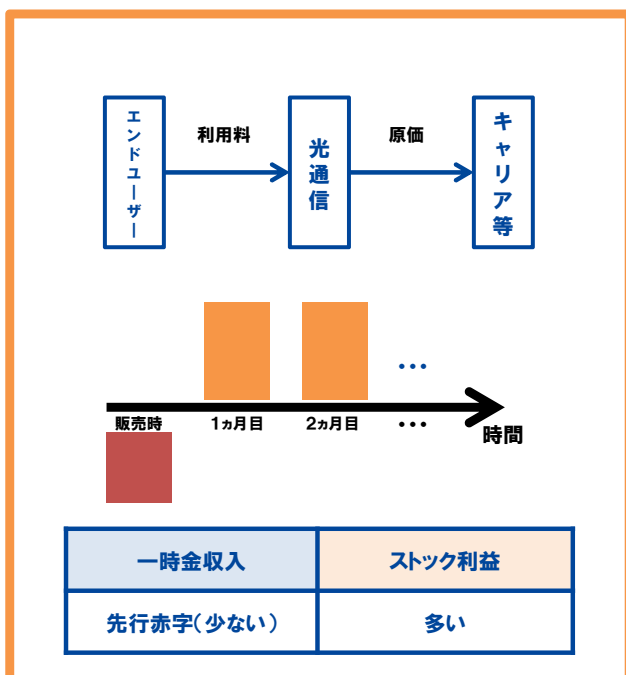
ビジネスモデル

① 自社商材事業

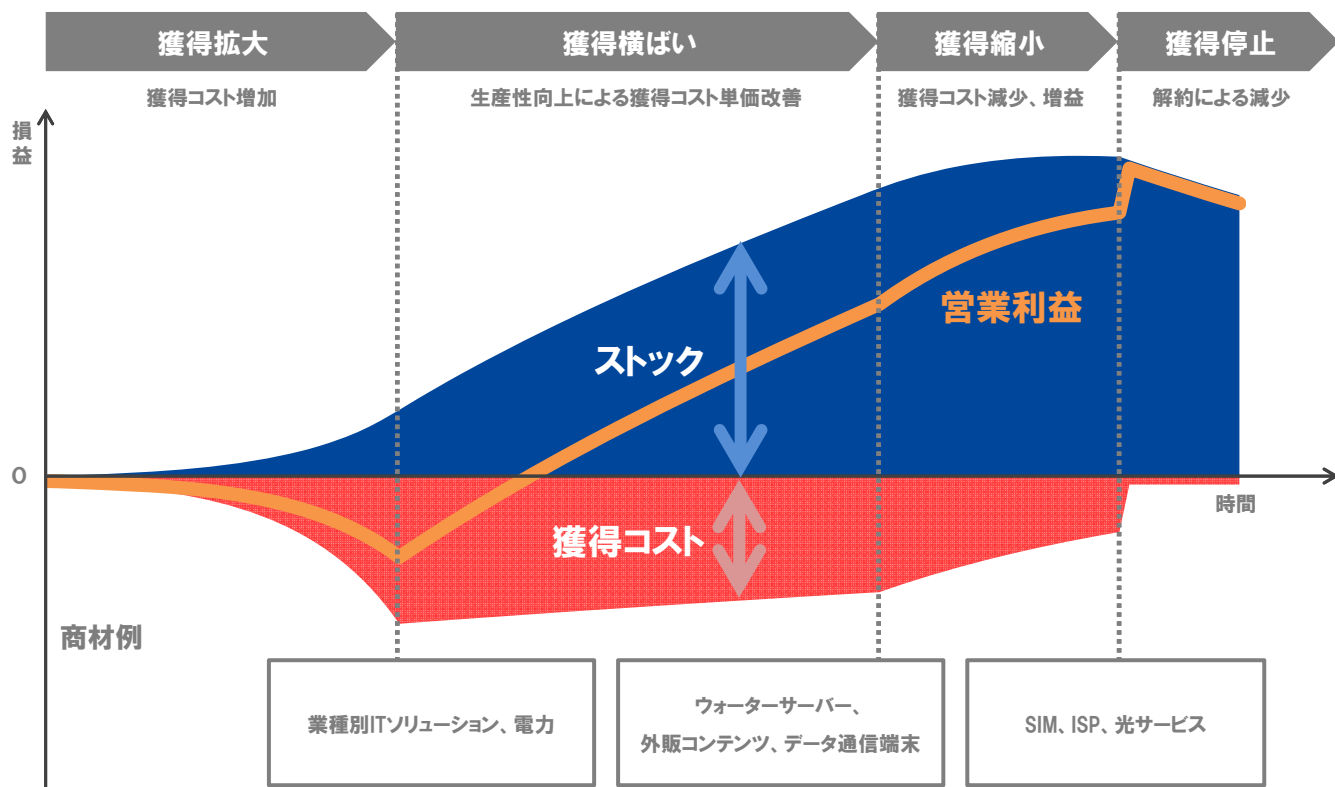
データ通信端末、ウォーターサーバー、電力...

② 他社商材事業

固定回線、OA機器、LED、携帯電話、保険...



自社商材の営業利益推移イメージ



ストック利益と獲得コストの説明

単位: 億円

| | 合計 | うち継続的なもの | | うち一時的なもの | |
|--------|--------|---------------------------------|--------|---------------------------------|--------|
| | | | | | |
| 売上収益 | 4,843 | 自社顧客からの通信利用料、通信キャリア・保険会社からの収入など | 2,671 | イニシャル手数料収入、ハードウェア販売代金など | 2,172 |
| 原価+販管費 | ▲4,201 | 提供サービスの原価、請求コスト等顧客維持コストなど | ▲1,750 | ハードウェア仕入原価、営業人件費、二次代理店への販売手数料など | ▲2,450 |
| 営業利益 | 642 | ストック利益 | 920 | 獲得コスト | ▲278 |

連結損益計算書

単位: 億円

| | 16/3 | | 17/3 | 18/3 | 19/3 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 日本基準 | IFRS | IFRS | IFRS | IFRS |
| 売上収益 | 5,745 | 4,476 | 4,289 | 4,275 | 4,843 |
| 営業利益 | 374 | 376 | 415 | 510 | 642 |
| 経常利益 | 383 | - | - | - | - |
| 税引前当期利益 | 511 | 479 | 627 | 537 | 715 |
| <small>親会社株主／親会社の所有者に帰属する</small> 当期利益 | 250 | 225 | 390 | 429 | 495 |
| 1株当たり当期利益(円) | 538 | 485 | 840 | 927 | 1,075 |

| | | | | | |
|--------------|------|------|------|-------|-------|
| 売上収益営業利益率(%) | 6.5% | 8.4% | 9.7% | 11.9% | 13.3% |
|--------------|------|------|------|-------|-------|

※18/3は、IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

39

連結財政状態計算書

単位: 億円

| | 18/3 IFRS | 19/3 IFRS | | 18/3 IFRS | 19/3 IFRS |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 現金及び現金同等物 | 1,858 | 1,863 | 営業債務及びその他の債務 | 1,244 | 1,535 |
| 営業債権及びその他の債権 | 1,661 | 1,781 | 有利子負債(流動) | 367 | 599 |
| 流動資産合計 | 3,745 | 3,882 | 流動負債合計 | 1,759 | 2,282 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 501 | 657 | 有利子負債(非流動) | 2,332 | 2,601 |
| その他の金融資産(非流動) | 1,738 | 2,447 | 非流動負債合計 | 2,681 | 3,024 |
| 非流動資産合計 | 3,111 | 4,159 | 負債合計 | 4,441 | 5,306 |
| 資産合計 | 6,856 | 8,042 | 株主資本 | 1,793 | 2,574 |
| | 18/3 IFRS | 19/3 IFRS | その他の包括利益累計額 | 459 | ▲1 |
| 自己資本 | 2,252 | 2,572 | 資本合計 | 2,415 | 2,735 |
| 自己資本比率 | 32.9% | 32.0% | 負債及び資本合計 | 6,856 | 8,042 |

※18/3は、IFRS15号適用後の数値で修正表記しております。

©2019 HIKARI TSUSHIN, INC. All Rights Reserved

40

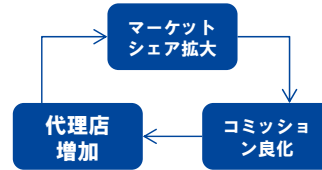
当社の強み

①創業来からの強み



創業以来大事にしてきた企業風土が数字を積み上げる原動力になっている。

③圧倒的な販売網



シェア拡大～代理店増加の好循環が続いており販売網が拡大している。

②ストック利益

単位:億円



毎月安定的に得られる利益が大きいため事業拡大のコストを十分にかげられる。

④自社顧客



アプローチ可能な顧客リストが積み上がり、クロスセルによる効率的な利益増加が見込まれる。

光通信の取り組み

雇用環境の整備

①ダイバーシティの推進

多様化するビジネス社会に合わせて、グループ全社でダイバーシティを推進しています。また、育児支援や復職支援などにも積極的に取り組んでいます。



②としまイクボス宣言への参加

2016年9月、豊島区役所で産・官・学による「としまイクボス宣言」が開催され、イクボス宣言をいたしました。

※イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワークバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・上司)のことを指します。



③「くるみん」の取得

東京労働局より次世代認定事業主としての認定を受け、次世代育成支援対策推進法認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しています。



社会貢献活動の取り組み

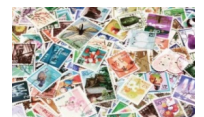
④ペットボトルキャップの回収

ペットボトルキャップをワクチン費用にするNPO法人エコキャップ推進協会の活動を支援しています。(2019年3月末時点で、累計414万個・ワクチン約4,256人分相当)



⑤使用済み切手の回収

使用済み切手を豊島区の社会福祉協議会に寄付しています。使用済み切手は、資金化されたのち福祉事業に活用されています。(2019年3月末時点で、累計7,963グラム)



⑥TC(豊島区クリーン化計画)活動の実施

毎月9がつく日を「クリーン・デイ」と名づけ、池袋駅周辺の清掃活動を行っています。平成28年度環境活動推進団体として、豊島区より感謝状を授与されました。



免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っており、また、これを保証するものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。